

チャレンジしてみませんか？ 散歩中に排せつさせないしつけ

名古屋市には、犬の散歩中の排せつに関する苦情が多数寄せられています。

飼主の当然のマナーとして、散歩中に、飼犬がしたフンを自宅に持ち帰って処理するようお願いしていますが、最近ではフンばかりではなく、電柱などにかけられた尿の悪臭などの苦情も多くなっていることから、本市では、さらに一歩進んで、飼犬に、「散歩中には排せつさせず、自宅の一定の場所(トイレ)で排せつさせるしつけ」をすることを推奨しています。トイレで排せつさせて、散歩中に排せつをさせないようにしつければ、散歩がもっと快適になります。

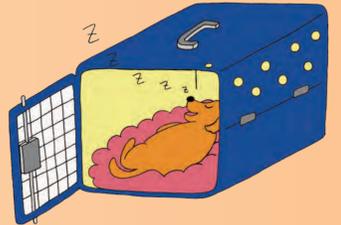
一人ひとりの飼主の取り組みが、ペットと暮らすきれいなまちを実現します。今日からは非、このしつけに挑戦してください。

1 どうして散歩で排せつするの？ 散歩で排せつさせないなんてできるの？

- ・草むらや電柱のにおいをかぐと、排せつやマーキングをしてしまうのは犬の本能です。
- ・犬を自由にして散歩させれば、多くの場合、排せつしてしまいます。
- ・飼主が、草むらや電柱のにおいをかがせて、犬の散歩での排せつを促していることもあります。
- ・自宅の一定の場所で排せつさせるしつけ(トイレのしつけ)をして、飼主主導で散歩をすれば、犬の排せつをコントロールすることができます。
- ・子犬の場合は、トイレのしつけをしっかりと、散歩で排せつすることをはじめから学習させないことが大切です。

2 どんなしつけをすればいいの？

★「①基本的なしつけ」・「②トイレのしつけ」・「③散歩のしつけ」が必要です。



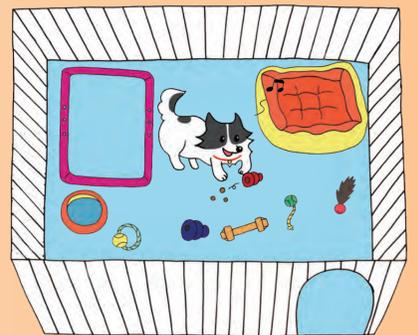
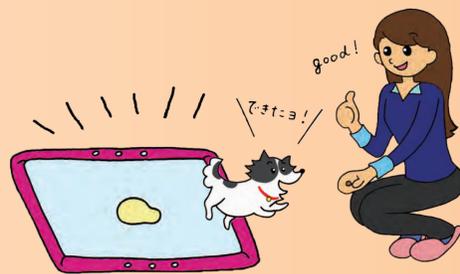
①基本的なしつけ 毎日のしつけはきちんとできていますか？

排せつや散歩を飼主がコントロールするためには、「アイコンタクト」、「オスワリ」、「マテ」など飼主とコミュニケーションをとるための最低限のしつけが必要です。名古屋市動物愛護センターでは、飼主が、犬にとって「信頼できる大好きな存在」となるように、おやつなどのごほうびを使って楽しくしつける方法をお伝えしています。

②トイレのしつけ 自宅の一定の場所(トイレ)で排せつさせるしつけをしましょう！

※ トイレのしつけで大切なこと(知っておいてほしいこと)

- ・「犬は寝床と食事場所では排せつをしない。」という習性をうまく利用すること
- ・犬の排せつについて飼主がコントロールすること
- ・失敗しても、しからないこと
- ・うまくできたら、ほめてやること
- ・トイレの場所は、むやみに変えずに犬が落ち着ける場所にあること
- ・犬の大きさにあったトイレを準備すること
- ・トイレを覚えるまでは、犬の行動範囲を制限すること
- ・あきらめないで根気よくすること



③散歩のしつけ 散歩中に排せつさせないしつけをしましょう！

※ 散歩中に排せつさせないために大切なこと

- ・散歩の前に必ず、自宅の一定の場所(トイレ)で排せつさせてから散歩に出かけること
- ・犬に引っ張られることなく、飼主主導で散歩する(リーダーウォーク)こと
- ・犬を飼主の横につかせて、飼主に注目させて、排せつさせないように配慮すること
- ・電柱や草むらなどのにおいをかがせないこと
- ・散歩中に排せつしそうになったら、歩速を早めたり、しばらく座らせて落ち着かせたり、家に近ければ引き返すこと



上記の方法は当センターで定期的で開催している「犬のしつけ方教室」や個別相談でお伝えしています。

お問い合わせ：名古屋市動物愛護センター 愛護館 (052)762-1515